



すべてのいのちを思いやる「こころ」を育む2日間。
小学生対象「Smileキッズ in アドベンチャーワールド」を開催します！
2026年5月16日（土）～5月17日（日）



アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）では、飼育体験や非日常体験の中で感情を共有するワークを通して、子どもたちが様々ないのちに出会い、未来を描く、小学生対象のプログラム「Smileキッズ in アドベンチャーワールド」を開催いたします。

本プログラムは、アチーブメント株式会社（代表取締役会長兼社長 青木仁志 様）と共同開発した、子ども向けプログラム「Smileキッズ」の認定講師資格を得たアドベンチャーワールドのスタッフが講師となり、地球の未来を担う子どもたちが自己肯定感、豊かなこころを育み、全てのいのちに対して優しいアクションを取ることができる人を増やすことを目的としています。

【Smile キッズ in アドベンチャーワールド 開催概要】

開催日程：2026年5月16日（土）～17日（日）の2日間

開催時間：5月16日（土） 午後1時00分～午後6時00分

5月17日（日） 午前9時00分～午後3時00分

開催場所：アドベンチャーワールド

参加対象：小学校1年生～6年生のお子さまとその保護者

定員：お子さま30名

参加費用：38,000円／名（保護者1名分の入園料金含む）

※費用には、お子さま1名と保護者1名の体験入園料を含みます。

※保護者の方が追加でご入園される場合は、パーク入園券のご購入が必要となります。

※パークへの交通手段及び宿泊先はご自身でお手配いただきます。

申込方法：Terravie <https://terravie-app.com/ticket-pack/a0cb049b-fee4-42e7-90c4-61324aaa0ab0>

申込期限：2026年5月2日（土）23時59分まで

※定員に達し次第、募集を締め切らせていただきます。

オプション「焚火イベント in サファリワールド」

開催時間：5月16日（土）午後6時00分～午後8時30分

※1日目のプログラム終了後、任意のご参加となります。焚き火イベントのみの参加はできません。

参加費用：13,000円（お子さまと保護者1名の2名分／夕食付）

※1名追加につき2,500円／夕食付が必要となります。

定員：先着6家族限定 ※事前予約制で、定員に達し次第、募集を締め切らせていただきます。

本プログラムの詳細およびキャンセルポリシーは、公式サイト/Terravieをご確認ください。



<https://www.aws-s.info/smilekids>

【イベントのポイント】

①教科書や画面上では学べない、本物の動物を前に「いのち」のあたたかさや美しさを体感する。

開園前のパークで動物をじっくり観察したり、獣医／飼育員体験を実施します。アドベンチャーワールドで暮らす約120種約1,600頭の動物を実際に見たり聞いたり、触ったりしながら、「いのち」のあたたかさや美しさを五感で感じてみましょう。

②子どもたち自身の「誕生」に触れ、家族で感情を共有する。

プログラムでは、保護者へのバースインタビューや焚き火（任意参加）などの内省的コンテンツを実施します。

アドベンチャーワールドという非日常空間で、日常の会話では届かない心の深い部分を家族みんなで見つめる時間を過ごしてみませんか。



【2日間の主なコンテンツ】

DAY 1	DAY 2
アイスブレイク	★開園前のパークを探検！
★飼育スタッフへのインタビュー どうぶつたちと仲良くなる秘密を探ろう！	★ワークショップ① 「周りのいのちのために、どんなことができるかな？」
★獣医体験 実際に動物たちに触れていのちを感じてみよう！	昼食 Smileキッズ オリジナルメニューをご用意♪
★保護者へのバースインタビュー 自分が生まれたときのことを聞いてみよう！	★ワークショップ② 2日間で学んだことをポスターにまとめてみよう！
★焚き火体験（※オプションのため任意参加）	★発表会 プログラムで感じたことを自分の言葉で伝えよう！

【Smileキッズ ファシリテーターのご紹介】



北野 智子

「こども学」のスペシャリスト！笑顔と可能性を引き出すSmileクリエイター

兵庫県尼崎市出身。「イルカのトレーナーになりたい！」幼い頃のそんな夢は、東日本大震災を機に「子どもたちを笑顔にする」という大きな使命へと変わりました。大学で専門的に「こども学」を修め、現在はパークの教育イベント企画や人材育成の最前線で活躍しています。「Smile（しあわせ）」を届けることへの情熱は誰にも負けません。確かな知識と温かい眼差しで、お子様一人ひとりの「可能性の扉」を広げ、最高の笑顔を引き出します。

SATOKO KITANO



嘉陽 さやか

2児のママだから共感できる！「いのち」の温もりを伝えるあたたかい案内人

沖縄県北谷町出身。アドベンチャーワールドでの飼育経験と、プライベートでの2人の男の子の子育て。この2つの視点を持つ彼女だからこそ伝えられる「言葉」があります。動物たちのたくましい生命力と、我が子の愛おしい瞬間。日々「いのち」と全力で向き合うママさんトレーナーが、お子様たちに優しく寄り添います。忙しい日常で見失いがちな「いのちの輝き」を、自身の経験を通じて温かく、そして力強く子どもたちの心に届けます。

SAYAKA KAYO



神谷 雅彦

あまたの「生」と「死」を見つめてきた、いのちの重みを知るベテラントレーナー

奈良県橿原市出身。アシカ、猛禽類、カバ、チンパンジー、ライオン…。アドベンチャーワールドで多岐にわたる動物たちと向き合い続けてきました。動物たちの短い寿命の中で繰り返される、誕生の喜びと別れの悲しみ。その両方を数多く経験してきた彼だからこそ語れる「いのちの真実」があります。ただ楽しいだけではない、深く心に刻まれる「いのちの大切さ」を、子どもたちの目線に合わせて真摯に伝えます。

MASAHIKO KAMIYA

【アドベンチャーワールド「SDGs宣言・パークポリシー」】 <https://www.aws-s.com/parktheme-sdgs/>

アドベンチャーワールドは、「いのちを見つめ、問い続ける。いのちの美しさに気づく場所。」として、すべての生命にSmile（しあわせ）が溢れる豊かな未来の地球の姿をパークで体現します。パークという“小さな地球”を通して、関わるすべての人の人生が豊かになるように、動物たちの生命がずっとつながっていくように、自然や資源が循環し再生するように、未来のSmileを創り続けていきます。

【SDGsについて】

SDGsとは「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年をめざして明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。2015年9月、ニューヨーク国連本部において193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。





ADVENTURE WORLD

アドベンチャーワールドは、豊かで多様ないのちが息づく紀伊半島・和歌山県白浜町に広がる、いのちの美しさに出会える場所。ここでは、世界中の陸・海・空の動物たち約120種・1,600頭が、私たちのパートナーとして共に暮らしています。「いのちを見つめ、問い続ける。いのちの美しさに気づく場所。」—この想いのもと、私たちは、エデュテインメントの力で心が動く体験を創造し、訪れるすべての人が、愛・つながり・可能性という“いのちの美しさ”に出会う“とき”を大切にしています。驚きや感動の先に生まれる気づきが、やがて、「だれもがキラボシな世界」をつくる一歩となるように。アドベンチャーワールドは、これからも挑戦を続けます。

- | | | | |
|-------|-------------|------------|---|
| ■所在地 | ：和歌山県白浜町 | ■公式HP | ： https://www.aws-s.com/ |
| ■面積 | ：80万平方メートル | ■X | ： https://x.com/aws_official |
| ■オープン | ：1978年4月22日 | ■Facebook | ： https://www.facebook.com/adventureworld_official |
| ■運営会社 | ：株式会社アワーズ | ■Instagram | ： https://www.instagram.com/adventureworld_official/ |
| | | ■YouTube | ： https://www.youtube.com/c/adventureworld_official |
| | | ■TikTok | ： https://www.tiktok.com/@adventureworldofficial |

アドベンチャーワールド公式ムービー「いのちは、なぜ？」公開中 ▶ <https://youtu.be/7vJwgg21u7Q>

Marine World

マリンワールド



遠い昔から一緒だった
海からのやさしい贈り物に出会う

Safari World

サファリワールド



野生を感じる、自然からの
熱いメッセージに耳を傾けるひととき

Horse Camp & Feeling Area

ホースキャンプ・ふれあい広場



ぬくもり、やさしさ
忘れられない出会いと感動

Play Zone



プレイゾーン



型にこだわらない遊びがまっている